

令和2年7月26日

令和2年度 県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」実施報告書(2)

第2回「私と森とのかかわり方」

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」 第2回「私と森とのかかわり方」 講義：「身近な自然遊びのヒント」講師：千葉県自然観察指導員協議会 晝間 初枝 実習：「身近な自然遊び」講師：千葉県自然観察指導員協議会 晝間 初枝 講師：千葉県自然観察指導員協議会 尾澤 伸幸 事例発表：「後世に残す実験的森づくり」講師：バランス21 二宮 豊 事例発表：「プレーパーク活動と森づくり」講師：四街道プレーパークどんぐりの森 古川美之 事例発表：「里山活動と情報の共有化」講師：ちば里山 People 友塚 新樹
日時	令和2年7月26日(日) 9:30~15:30
会場	ちば里山センター
出席者	受講生20名(9市1町)・講師6名、スタッフ3名
内容	9:30~10:30 講義：「身近な自然遊びのヒント」 講師：千葉県自然観察指導員協議会 晝間 初枝 10:40~12:00 実習：「身近な自然遊び」 講師：千葉県自然観察指導員協議会 晝間 初枝 講師：千葉県自然観察指導員協議会 尾澤 伸幸 12:00~13:00 昼食 13:00~13:30 事例発表：「後世に残す実験的森づくり」 講師：バランス21 二宮 豊 13:40~14:10 事例発表：「プレーパーク活動と森づくり」 講師：四街道プレーパークどんぐりの森 古川 美之 14:20~14:50 事例発表：「里山活動と情報の共有化」 講師：ちば里山 People 友塚 新樹 15:00~15:30 まとめ

報 告

- ・第2回里山カレッジはちば里山センターと千葉県緑化センター構内樹林地で行われた。
 - ・午前中は千葉県自然観察指導員協議会晝間初枝氏、尾澤伸幸氏による「自然遊び」の講義と実習を行った。最初に屋外に出て、バッタ、トンボ、カナヘビ、セミの抜け殻など9つのマスに振られた項目を見つけていくフィールドビンゴを行った。晝間講師は小石に小枝を取り上げ、「子どもが持つと、何をしたいと思いますか？」と問いかけた。小石一つポケットに入れ、小枝を持つだけで強く、大きくなったような気になる。「子どもにとって小石、小枝は最高の遊び道具」と説明した。
 - ・次に色いろな葉を集め、「はっぱじゃんけん」遊びをした。「ちくちく」、「ながい」、「すべすべ」等、一番それらしい葉を出す競争。
 - ・次に葉を使って、日本手ぬぐいに葉を当ててこすりだす作業。葉の色素が移り、紅葉、黄葉それぞれに葉の色が移る様子に楽しそうな雰囲気伝わってきた。素材をエコバッグに変えて葉のこすりだしを確かめた。
 - ・午後はバランス21の二宮講師が「後世に残す実験的森づくり」のテーマで事例発表。
 - ・後世に残す森づくりという点から、大径化・高齢化するクヌギ、コナラ林の更新、荒廃スギ林について極力労力をかけない森づくりという課題に絞って解決の糸口を探った。
 - ・実生苗とポット苗の成長を比較した結果、実生苗のほうが育ちがよい結果が出たので択伐・ギャップ地の実生苗の保育を実験中で、アズマネザサの事前刈り取りも実験を予定していると説明した。
 - ・荒廃したスギ・ヒノキ林は常緑広葉樹のスタジイ・アカガシの保育実験中、労力をかけない森づくりについて、究極は天然更新・自然林だが、落葉広葉樹の択伐・ギャップ活用、常緑樹林の択伐など目標林型に向けて実験のくりかえしを続けている。
- ・二例目の事例発表は四街道プレーパークどんぐりの森代表理事の古川美之さん。
- ・自然と子ども、人と人を繋ぐ里山で自分の責任で自由に遊べるプレーパークを開いている。子どもたちが自分たちのペースで挑戦しながら過ごせ、自主的・自発的に遊べる「子どもたちの遊び場」である。
 - ・プレーパークには、里山の遊びを通して自然への気づきを、自ら育つ力を養う。大人も子どもも参加する異年齢の集団で体験を重ねることで社会を知る。子どもも大人も育ちあう地域コミュニティづくりを目指す。以上の3つのねらいがある。
 - ・千葉県内の里山を繋ぎ、冒険遊びネットワークを組んでいる。「里山を地域のプラットホームに」が合言葉になっている。
- ・三例目はちば里山__People を主催する友塚氏が「里山活動と情報の共有化」について発表した。ちば里山__People は SNS の一つ。ちば里山__People の中の人々が活動に参加してレポートを投稿、活動について客観的に意見を言う。他団体の活動に誘って一緒に参加し、情報発信と情報共有化を目指したもの。
- ・受講生に、里山活動情報についてスマートフォンや写真を使って投稿する SNS への参加、「あなたもできる情報発信・共有化」として呼びかけた。
 - ・講師、スタッフ、受講生のマスク着用、会議室内の密接空間を避け、3人掛けテーブルの1人掛け、テーブル、椅子のアルコール消毒、入り口での体温測定と手指アルコール消毒、トイレ使用後の手指アルコール消毒に努めた。

添付資料（写真）



昼間講師、尾澤講師の講義



フィールドビンゴ



葉っぱ並べ



葉っぱじゃんけん



葉っぱのこすりだし



受講生の作品



エコバッグのこすりだし



二宮講師



受講生の皆さん



古川美之講師



友塚講師



参加者から質問